

おはらのじかん

第36号

2026 Spring

巻頭
特集

小原暮らしがどう守られているか？

おばらを守る消防

安全・安心はみんなで守る！



小原人集まれ！
「ようこそおばら委員会」

小原人
以外でもOK

「山間地域でも安心を。私たちの命をつなぐ、小原の救急・消防体制」

[マンガイカくんキンちゃんの小原日記] [小原いろいろ情報]



消火栓の点検



新しいポンプ車の取り扱い訓練



藤岡小原分署との合同訓練会



藤岡小原分署との合同訓練会



定例会のポンプ点検



道慈小学校での自主防災の訓練会



道慈小学校での自主防災の訓練会



山間部ならではの活動は？
やはり山火事、山や川の捜索活動です。矢作川は毎年のように事故が起きて消防士さんの捜索補助がよく呼ばれました。山の行方不明者の捜索も何度かありました。

判断され、訓練内容や実施時間が変わってきました。
3分団は定例会の日を決めていなくて毎月集まれる日を調整しています。パトロールは地域の道や民家を把握しておくためにいろんな道を通るのですが、たまにもものすごく細い道に入ってしまう引き返すのに苦労します(笑)

小原の消防団の分団、人数、年齢、入団の仕方は？
小原は3つ分団があって、小学校区で分かれていますが、昔はもっとあったのですがほとんど減って今は3つです。年齢は18歳から入れて定年はなく20代、50代まで年齢は幅広いですが、基本的にはこちらから声をかけて入ってもらいますが、入団したい方は近所の消防団に声をかけてくれたらすぐに入れます！
1分団は32人で3つの中で一番多いです。道慈小学校区は宅地があつてイターンのの方が多いので半分は以上はイターンのの方ですね。若い方が多いのでみんなでワイワイ楽しんでやっています。
2分団は24人ですが、普段の活動には参加せずに有事の時に出動してくれる団員が何名かいます。
3分団は1人で出動できないのでその時だけでも本当に助かります。
19人です。人数が少なくてもなかなか活動ができていません。消防車も前は2台でしたが1台減って今は1台です。
豊田市に住んでいれば小原地区にいらなくても小原の消防団に入れます。実際に結婚して小原を出たけれど継続して入っている方もいますよ。あと、小原にはまだいませんが豊田市は女性の団員が増えているそうです。是非入って欲しいです！(笑)



山間部ならではの活動は？
やはり山火事、山や川の捜索活動です。矢作川は毎年のように事故が起きて消防士さんの捜索補助がよく呼ばれました。山の行方不明者の捜索も何度かありました。

判断され、訓練内容や実施時間が変わってきました。
3分団は定例会の日を決めていなくて毎月集まれる日を調整しています。パトロールは地域の道や民家を把握しておくためにいろんな道を通るのですが、たまにもものすごく細い道に入ってしまう引き返すのに苦労します(笑)

小原地区で災害から地域を守る活動をする、消防団の存在を知っているもの、実際にどんな活動をしているのでしょうか？
地域の人の安全を守るため日頃から訓練や活動をしている消防団。
今回、小原地区消防団の方面隊長と分団長に集まっていたいただきいろんな話を伺いました。



大変な事は？
消防団に入って良かった事、
自分の顔を知られてもらえて繋がりができました。消防以外でも遊びますし家族ぐるみで付き合いもあるのが子供同士もすぐに仲良くなれました。

消防団に入って良かった事、
自分の顔を知られてもらえて繋がりができました。消防以外でも遊びますし家族ぐるみで付き合いもあるのが子供同士もすぐに仲良くなれました。



消防団の入団を是非！
仕事をしながらの活動なので大変なところもありますが、地域の役に立てるやりがいのある活動です。今後人数が減っていくともありません。全ての活動に参加できなくても問題ないので入団していただくと有難いです。
ただ、僕は訓練はするけど出動しないにこしたことはないです！

主な活動は？
月に一度、基本的に19日が定例会であり、分団ごとに夜間に集まってパトロールと消防車のポンプ点検をします。藤岡小原分署の消防士さんと合同訓練、文化祭りも一緒に参加します。

消防団に入って良かった事、
自分の顔を知られてもらえて繋がりができました。消防以外でも遊びますし家族ぐるみで付き合いもあるのが子供同士もすぐに仲良くなれました。

消防団の入団を是非！
仕事をしながらの活動なので大変なところもありますが、地域の役に立てるやりがいのある活動です。今後人数が減っていくともありません。全ての活動に参加できなくても問題ないので入団していただくと有難いです。
ただ、僕は訓練はするけど出動しないにこしたことはないです！



右から方面隊長:加藤直之さん(分団をまとめる役割) 第1分団長:今井信行さん(道慈小地区) 第2分団長:鈴木祐輔さん(中部小地区) 第3分団長:水野篤士さん(本城小地区)

イターン団員インタビュー

小原の消防団で活躍しているイターン移住者の方々に、消防団、小原について自由に話していただきました。



足助町生まれです。学校を卒業後、仕事で東海市に13年ほど住み、5年前に妻の実家の家を継ぐため小原に引っ越しました。すぐに商工会青年部、消防団に入りました。

安城市育ちで、結婚して豊田市の社宅に住んでいたのですが、家の周りに工場があり子どもが病気がちで喘息がひどくなり、澤田さんの紹介で小原に家を見つけ引っ越ししました。子どもの喘息も治りました。消防団は澤田さんに何度か誘われたのですが、念には念を入れ町内会長さんなどからも話を聞いた上、入ることに決めました。

江南市出身です。古民家好きの妻が空き家バンクで西細田に家を見つけ、妻に押される形で移住を決めました。小原は生物多様性が豊かで、田んぼにはたくさん絶滅危惧種が生息し、星空が綺麗で、素敵などころだ

と思います。消防団には引っ越した翌月に勧誘されすぐに入団しました。

福岡出身で就職で豊田市にきました。家を探していたところ、妻が小原の中古物件を見つけ、見学に来た際その家の持ち主と話ができ、買うことに決めてしまいました。消防団は引っ越してすぐに隣の人に誘われ入団し12年目になります。

移住して18年になります。子育てに適した広い土地、大きな家を求めて小原に引っ越しました。消防団の部長をしていた時、白山神社の600年祭があり手筒花火を上げ、それが今の小原宴火につながりました。以前はトヨタ自動車に勤めていたのですが、山での仕事が面白く今は林業の社長をしています。

消防団に入つてよかったことは、みなさん口を揃えて「知り合いがいなかったが、すぐに横のつながりができた」ということでした。大変だったことは、「早朝、深夜の呼び出し」「出勤の呼び出しがかかっても土地勘がないので場所がわからず困った」「最初の出勤が火事場の後始末で、焼け焦げた屋根の葺き、トビを使い残火がないか確認し消火するのが大変だった」など、笑いながら数々のエピソードを話してくれました。

度々の出勤に加え、訓練、警防技術交換会など仕事を抱えながらの活動、大変なことだと思えます。



澤田さんの言葉を借りると「小原に来てお世話になった人たちに恩返しをしたい」そしてこれから移住される方に、「小原の人は移住者を暖かく迎えてくれます。田舎暮らしは共同作業などすることが多く忙しいですが、お役、お祭りなどにも参加することによって親しさが増し、より楽しくなります。」と、アドバイスをいただきました。

藤岡小原分署長 鈴木さんインタビュー

今回、北消防署藤岡小原分署長の鈴木さんにインタビューをし、業務内容や給料などを

本音で答えていただきました☆当日は実際に使われている空気ボンベや防火服を着けさせていただくなど、楽しく、貴重な体験をさせていただきました！ぜひ本文を読んでください！小原中学校三年生後期室長 浦野海 早川 亜花音



左から澤田さん(1分団 大平に移住歴 18年) / 山内さん(2分団 上仁木に移住歴 5年) / 矢島さん(3分団 西細田に移住歴 5年) / 寄田さん(1分団 大平に移住歴 5年) / 大坪さん(1分団 大平に移住歴 12年)



はじめに

みなさんは、消防士という仕事に興味をもったことはありませんか？火事現場に行き、火を消して、人を助ける。それが消防士の仕事だと考えている人が多いと思います。ですが、消防士という仕事は消火活動だけでなく、いろいろな活動をしているのです！今回は、その中の三つをご紹介します。

一つ目は、救急活動。急病や事故などが起きた際に、火災現場での救急活動を行います。火事が起こってしまい、怪我を負ってしまった場合でも、救急活動を行ってくださる人がいると、とても安心しますね！

二つ目は、火災予防活動。地域住民に対する防火防災知識の普及や指導などをします。この活動があることで、防災に対する意識を高めることができますね！

三つ目は、指令課。一九番通報を二十四時間体制で受信し、消防などに指示を出します。

消防士の手当

みなさんは、消防士さんのお給料がどのくらいご存知でしょうか？

初任給は、大学卒業で約三十万円、短大卒業で約二十八万円、高校卒業で約二十六万円ほどだそうです。また、一回の出動で五百円の手当がもらえ、その他にも期末、勤勉手当、通勤手当、児童手当、時間外勤務手当、特殊勤務手当、住居手当、扶養手当、管理職手当、夜間勤務手当など、さまざまな手当があります。通常のお給料に加えて、これらの手当が加わると思うと、お給料面で消防士に魅力を感じた人もいないではないでしょうか。

消防士の今

みなさんは、「消防士」と聞くと、どのような人か想像できますか。「運動能力が高く、筋肉隆々の男性」というイメージをもつ人が多いと思います。ですが、近年、少しずつ女性職員が増えています。その理由の一つが、職場環境の改善です。人手不足の中、少しでも人材を増やそうと、隊員の負担を減らして働ける環境づくりを行いました。具体的には、空気ボンベの重さです。空気ボンベの素材を鉄からグラスファイバーに変更することで、ボンベが軽くなり、女性も一刻を争う現場で

活動ができるようになりました。また、職員の髪色や髪型もあまり厳しくなくなりました。これによって、以前よりも自分らしく働ける環境がつけられています。

鈴木さんにインタビュー！

Q いたずら通報はありますか？

あります。通信指令員を務めたとき「さみしい」「鼻水が止まらない」といった緊急性の低い通報があったそうです。そのため「正しく救急車を使してほしい」と呼びかけていました。

Q 出動以外の時間に何をしていますか？

出動時以外は、外での運転訓練や消火訓練を行うそうです。訓練以外だと、訓練の企画書や計画書を作っているそうです。また、訓練の際に気をつけていることは、緊急時に適切に動けるようにしておくことだそうです。

Q 消防士として意識していることは？

自分ではなく、火事に遭った人や周りの仲間を優先して、注意を呼びかけることだと思います。また、気難しいという印象を与えないように、市民の人に優しく、気持ちよく伝えるように話しているそうです。署内では、上下関係がきくしゃくしないように工夫するなど、職場にいる人が過ごしやすいようにしているそうです。

Q やりがいを感じる時はいつですか？

誰かの力になったときに「ありがとう」とお礼を言われたときだそうです。

さいごに

今回、鈴木さんにインタビューをさせていただいて、消防士さんは、いざというときのためにいつでも助けたり、サポートしたりできるように、日ごろから準備されていることが分かりました。消防士のみなさんに感謝して生活していきたいですね。



新型消防車と藤岡小原分署の消防士の方々



小原中学校の一年生が初めて記事を書きました。試行錯誤して取り組んだ文章です。二読いただけると幸いです。小原中学校一年生担任 宮野

「山間地域でも安心を。私たちの命をつなぐ、小原の救急・消防体制」

自然豊かな小原地区での暮らしですが「もしも急病やケガになったら」と、市街地から離れているからこそその不安を抱くことはあります。今回は、私たちの命と安全を守る豊田市消防本部 藤岡小原分署(以下



藤岡小原分署長の鈴木さん

分署の鈴木分署長にお話を伺いました。分署には分署長の鈴木さん以外は全員で24人いて、2チームでシフトを回しています。24時間勤務だと消防隊4人、救急隊3人の計7人体制で、地域を見守ってくれています。到着までは10〜15分。奥の方へはもう少し時間がかかることもありませんが、お話を伺うと、そこには安心できる理由がたくさんありました。

まず心強いのが、消防指令システムです。もし小原の救急車が出動中の場合でも、指令センターが「次に現場から一番近い救急隊」を瞬時に判断し、隣接する旭出張所などの別救急隊がすぐに駆けつけてくれます。さらに、重症だとか一刻を争う重篤な状況の場合は、迅速に人手を確保するために救急車だけでなく消防車も同時に出動する体制が整っています。出動する救急車には、特定の救命処置を行える「救急救命士」8人いて、救急車には必ず1人は乗車しており、現場での高度な対応が可能です。

また、緊急時には「ドクターヘリ」も連携します。要請があれば約10分ほどの早さで上空まできます。ヘリが着陸するにはアスファルト等舗装されていない場所だと、砂埃が舞わないように放水させる必要があります。分署の消防士が先回りして対応している



さんはこうも語ってくれました。「エリアが広く、私たちはワンチーム7人しかいないため、やっぱり地域にいる消防団の方の力は本当に必要なんです」。

お話を聞き、最新の消防指令システムやドクターヘリ、そしてプロの消防士さんたちの存在。それに加えて、いざという時に駆けつけてくれる地元の消防団や、民間の「まちかど救急ステーション(AEDと応急手当)」という仕組みが組み合わさること、小原地区の安心は守られていることを実感させていただきました。

そうです。

分署がなかった頃に比べると、格段に、救急・消防体制は進化し、地域としてとても安心できる環境が整っています。しかし、消防士



T.S

◆ 小原の暮らし情報

【5月30日(土)】
Rally Japan OBARASS
パブリックビューイング &
おぼらマルシェ

昨年のラリーが春にやってきました。パブリックビューイング&マルシェ等で盛り上がりです。会場 小原交流館 駐車場・小原中部小学校、和紙のふるさと



【6月7日(日)】
小原歌舞伎「五月公演」
今年6月に変更し開催。小原ならではの地歌舞伎を無料で楽しめます。(おひねり歓迎)
会場 小原交流館「サ小原座」

【6月13日(土)】
踊る舞! おいでん小原
With おぼらマルシェ
地域の特色を盛り込んだマイタウンおいでんと地元小原の野菜やグルメクラフトショップなどのマルシェを共同開催
会場 豊田市 緑の公園
詳しくは小原商工会まで

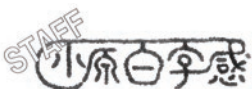
おぼら地区の物件を探すなら!

豊田市 空き家バンク

www.city.toyota.aichi.jp/akiya/



ようこそおぼら
委員会の公式
SNSに登録して
くださいね。



編集後記

消防団は思った以上が大変な活動でしたが、皆さん仲良く楽しそうに話してくれました。これを機に協力してくる方が増えるといいなと心から思います。消防団の皆さん、いつも本当に有り難うございます!

A.N (今回編集長)

消防団員の皆さん、地元のため、日々の地道な活動ありがとうございます! 消防のお仕事について何も知らなかったのですが、今回の取材で学ぶことができました。これからもよろしく願います。お体、ケガに気をつけてくださいね。

Y.K

今回取材させていただき、昔の小原村の時代から格段に安全・安心が守られる体制になっていることに安心しました。それは消防署はもちろん。消防団や民間で手助けしてくれる方の力が多きことも改めてわかりました。

T.S

取材委員大募集~!

ようこそおぼら委員会では取材に関わっていただける方を募集しております。年1~2回程度の取材でレクチャーもします。気軽にお問い合わせください。

発行: 2026年3月【ようこそおぼら委員会事務局 豊田市役所 小原支所】

〒470-0592 愛知県豊田市小原町上平441-1 Tel 0565-65-2001 Fax 0565-65-3695

E-mail: obara-shisho@city.toyota.aichi.jp 今後、本誌の郵便(無料)を希望される方はご連絡ください。